

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	720	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	個別事業 社会資本総合整備計画の推進	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	9人 (換算人数) 0.65人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	5,655千円 (うち人件費 5,655千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	公共下水道の早期整備を図るため、財源確保と適正な予算執行を行う。				
(3) 事業内容	内容	予算管理事務 (予算編成・事務管理・決算) 国庫補助事務事業 (概算・本要望、交付申請・請求、完了報告、事務費協議) 起債事務 (申請・変更申請) 会計検査・県検査 (受検準備・受検)			当該年度執行計画	予算管理事務 国庫補助事務事業 起債事務 会計検査・県検査				
		当該年度活動結果指標	社会資本総合整備計画に基づく管渠布設延長			単位	m	想定値	480	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	事務事業の管渠布設延長				直接	公共下水道管渠布設延長		m	0	480
令和3年度	事務事業の管渠布設延長				直接	公共下水道管渠布設延長		m		2,229
令和4年度	事務事業の管渠布設延長				直接	公共下水道管渠布設延長		m		3,997
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		予算管理事務	0	予算管理事務	0		予算管理事務	0	予算管理事務	0
		国庫補助事務事業	0	国庫補助事務事業	0		国庫補助事務事業	0	国庫補助事務事業	0
		起債事務事業	0	起債事務事業	0		起債事務事業	0	起債事務事業	0
会計・県検査	0	会計・県検査	0		会計・県検査	0	会計・県検査	0		
予算(決算)額	合計	0	合計	0		合計	0	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		0		0		0		0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.7	0.65	0.65	0.65					
	正職員人件費	6,160	5,655	5,655	5,655					
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0					
	臨時職員賃金額	0	0	0	0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	6,160	5,655	5,655	5,655						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	38.26千円/m		11.78千円/m							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
必要性	(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/>法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/>提供主体が市しかない <input type="checkbox"/>その他</li> <li>○②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/>市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/>市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/>市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/>その他</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○①事前確認での想定どおり</li> <li>○②事前確認での想定どおりでなかった</li> <li>&lt;想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因&gt;</li> <li>○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった</li> <li>○②市が主導で進めなければ実効性がなかった</li> <li>○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された</li> <li>○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した</li> <li>○⑤サービス水準が確保された</li> <li>○⑥サービスの安定供給基盤が確保された</li> <li>○⑦その他</li> <li>&lt;その他の内容&gt;</li> </ul>				○要 ○不要
	参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし			工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容
環境への配慮	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし			取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮	○要 ○不要
効率性	(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (m)	目標値 (b) (m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>	
	(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	
	(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									
評価	評価コメント					改善策及び展開方向			

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	728	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 健全な経営体制の確立 個別事業 水洗化の普及促進	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	4人 (換算人数) 0.2人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 974千円	当該(開始)年度	(当初) 1,858千円 (うち人件費 1,740千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水洗化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。			事業目的	公共用水域の自然環境の保全及び生活環境の改善を図る。				
(3) 事業内容	内容	公共下水道未接続の水洗化を促進するため、個別訪問を実施するとともに水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給事業を行っている。また、マンホールカードの配布等を通じて水洗化の普及促進を図る。			当該年度執行計画	供用開始区域を新たに追加する場合は、工事説明会の際、水洗化資金融資あっせん及び利子補給制度のPRを行うとともに個別訪問を実施する。 令和2年9月 住民説明会 随時 戸別訪問 マンホールカードの制作を8月に行い、下水道課及び人が集まりやすい場所、各種イベント等で配布し、下水道への理解を深める。				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	水洗化の促進			直接	利子補給件数	件	0	2		
令和3年度	水洗化の促進			直接	利子補給件数	件		2		
令和4年度	水洗化の促進			直接	利子補給件数	件		2		
(7) 事業実施上の課題と対応	長引く景気の低迷により、排水設備の切り替え工事を行うための費用負担が重い世帯が増えている。水洗便所改造資金融資あっせん及び利子補給制度の活用を促し、接続に結び付ける。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			水洗化資金利子補給金	15		水洗化資金利子補給金	15		水洗化資金利子補給金	15
			消耗品費	78		消耗品費	30		消耗品費	30
			通信運搬費	19		通信運搬費	29		通信運搬費	29
				* マンホールカード作成(2000枚)	44		マンホールカード作成(2000枚)	44		
予算(決算)額	合計		112	合計		118	合計		118	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		0		0		0		0	
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	112	■特会 □受益 □基金 ■その他	118	■特会 □受益 □基金 ■その他	118	■特会 □受益 □基金 ■その他	118	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.1		0.2		0.2		0.2	
	正職員人件費		880		1,740		1,740		1,740	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		992		1,858		1,858		1,858	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			496千円/件			929千円/件				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
	・公共下水道の整備による水洗化は、市民の快適な生活環境の保持及び公共用水域の水質保全のための重要な要素であり、同時に建設投資の効率性を確保する観点からも高く望まれています。 ・下水道法第11条の3に水洗化への改造義務が位置付けられており、供用開始時における地域説明会、未接続住宅への個別訪問等、市民に啓発を促すとともに、水洗化への工事資金の一部として改造資金融資あっせん及び利子補給制度を設け多くの利用者に供することで、水洗化を促進したい。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要			
	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他  ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容			工夫の具体的な内容				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)			
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし							参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点			取組む内容				実施した具体的な内容			
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容> 該当なし			下水道の普及率が上がれば、衛生面、臭気、水質汚染等の諸問題が軽減される。				環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック				達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	0	2	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である				実績値(f)(件)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
				実施予定の対策				実施状況			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	実施予定の対策				実施状況					
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託				実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	1,858	△866	<削減の内容>				<超過理由等>				
事業費削減率(%)											
△87.3											
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法				達成状況				
	0.11	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費				実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
							○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (729), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, and financials.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and checkboxes.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for current status and future directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (730), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation table with sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (732), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, citizen participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress, expansion, etc.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion direction).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	734	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 維持管理の充実	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	個別事業 排水設備の審査及び竣工検査	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	●市 ○その他 ( )	⑥担当職員数	3人 (換算人数) 0.2人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	当(初)	17,085千円 (うち人件費 1,740千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改良に取り組みます。			事業目的	排水設備が、下水道法及び下水道条例の規定する基準に適合しているかを書類審査及び現地検査の実施。				
(3) 事業内容	内容	家庭や事業所などから排出される汚水を下水道本管に流す排水設備が、下水道法及び条例に規定する基準に適合し、適切な排水機能を備えるため書類審査を実施し、工事完成後現地検査を行う。			当該年度執行計画	随時 ・排水設備等新設等確認申請書類審査数 530件 ・排水設備等新設等確認申請現地検査数 530件 ・市道占用掘削許可申請書類審査数 110件 ・国道・県道掘削許可申請書類審査数 5件				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	排水設備新設等確認申請書類及び現地検査は、すべて基準に適合。			指標種類	指標	単位	件	想定値	530
当該年度		排水設備新設等確認申請書類及び現地検査は、すべて基準に適合。			直接	排水設備新設等確認申請書類審査件数	件		実績値	0
令和3年度		排水設備新設等確認申請書類及び現地検査は、すべて基準に適合。			直接	排水設備新設等確認申請書類審査件数	件			540
令和4年度		排水設備新設等確認申請書類及び現地検査は、すべて基準に適合。			直接	排水設備新設等確認申請書類審査件数	件			550
(7) 事業実施上の課題と対応		汚水管への不明水混入の原因の一つとみられる排水設備の誤接続を監視、指導するための体制(システム)づくりの検討を図る。			代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			公共樹設置工事費 測量及び実施設計業務委託 嘱託職員報酬額(2号嘱託)	14,850 495 1,814		公共樹設置工事費 測量及び実施設計業務委託	14,850 495		公共樹設置工事費 測量及び実施設計業務委託	14,850 495
		予算(決算)額	合計	17,159	合計	15,345	合計	15,345	合計	15,345
		(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
(10) 人件費等	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
	起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
	一般財源	0		0		0		0		
	その他の財源	17,159	■特会 □受益 □基金 □その他	15,345	■特会 □受益 □基金 ■その他	15,345	■特会 □受益 □基金 ■その他	15,345	■特会 □受益 □基金 ■その他	
	換算人数(人)	0.2		0.2		0.2		0.2		
正職員人件費	1,760		1,740		1,740		1,740			
嘱託職員報酬額	1,000		0		0		0			
臨時職員賃金額	0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	18,919		17,085		17,085		17,085			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	35.7千円/件		32.24千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	公共下水道への接続に係る排水設備工事は個人負担で行うが、適正な強度と構造を確保するために、受託施工者である我孫子市下水道指定工事店を指導し、かつ排水設備の現地完成検査を実施するため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>						
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(件)	目標値(b)(件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	530	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(件)	(f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託 □⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	3.1	単位 費用単位 件	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%)	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 736 課コード 0603 会計種別 公営企業会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 維持管理の充実, ②実施計画への位置づけ 有, ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 ~, ⑥担当職員数 3人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 62201
(2) 目的: 衛生的で快適な生活環境を確保するため...
(3) 事業内容: 内容
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応: マンホールポンプ等の管理、点検は熟練した技術者が必要である...
(8) 施行事項 費用: 平成31年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度の費用内訳表
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源
(10) 人件費等: 換算人数, 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) (1) 目標設定は適切か?
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (738), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.



事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (739), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (現状どおり推進, 拡充, etc.) and a space for comments and improvement strategies.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (740), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ, ②目的, ③事業内容, ④達成目標, ⑦事業実施上の課題と対応, ⑧施行事項, ⑨財源内訳, ⑩人件費等, ⑪単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for 必要性, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, 目標設定, 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (741), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (□政策 □經常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for status and improvement directions.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and expansion directions).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	742	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	□政策	■経常	□なし
-------	-----	------	------	------	--------	-------	-----	-----	-----

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	健全な経営体制の確立		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課					
		個別事業	公共下水道事業供用開始											
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.4人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	4,360千円 (うち人件費 3,480千円)							
				(変更後)	千円 (うち人件費 千円)									
⑧施策の位置づけ	施策コード	62202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水酸化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。			事業目的	公共下水道の供用開始及び終末処理場における下水の処理開始に当たり、あらかじめ公共下水道管理者が必要事項の公示及び縦覧を行ない、周知を図る。								
(3) 事業内容	内容	公共下水道の本管布設工事後、下水道法第9条の規定により、公共下水道の供用及び処理開始にかかる公示、縦覧を行う。			当該年度執行計画	前年度の工事完了区域に対し、公共下水道の供用及び処理開始にかかる公示、縦覧を行う。5月に千葉県手賀沼下水道事務所へ公示面積調書及び公示の写しを添えて報告する。2月に、翌年度の流域下水道処理開始区域に係る処理開始予定書及び処理区域普及見込み調書を提出し、ヒアリングを経て手賀沼流域下水道の処理開始通知(下水道法第25条の6)を取得する。								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	下水道法第9条に基づく公共下水道の供用及び処理開始にかかる公示、縦覧を行なう。			指標種類	指標	単位	回	想定値	1				
当該年度					直接	公示回数	回		実績値	0				
令和3年度					直接	公示回数	回			1				
令和4年度					直接	公示回数	回数			1				
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			処理区分開始区域データ作成 下水道供用開始平面図 嘱託職員報酬額(2号嘱託)	153 500		処理区分開始区域データ作成 下水道供用開始平面図 パート会計年度(事務補助員)0.3人	153 727				処理区分開始区域データ作成 下水道供用開始平面図 パート会計年度(事務補助員)0.3人	153 727		
			予算(決算)額	合計	653	合計	880	合計	880	合計	880			
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	
	一般財源			0			0			0			0	
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他		653	■特会 □受益 □基金 ■その他		880	■特会 □受益 □基金 ■その他		880	■特会 □受益 □基金 ■その他		880	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.4		0.4		0.4		0.4					
	正職員人件費		3,520		3,480		3,480		3,480					
	嘱託職員報酬額		544		0		0		0					
	臨時職員賃金額		0		0		0		0					
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		4,173		4,360		4,360		4,360					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			4,173千円/回		4,360千円/回									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	下水道法第9条、千葉県流域下水道維持管理要綱第5条並びに同10条により義務付けられているため。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫		参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(回)	目標値(b)(回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成			
	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(回)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	4,360	△187	<削減の内容>		<超過理由等>				
	事業費削減率(%)								
	△4.48								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.02	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		回	10万円						

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (743), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with checkboxes for progress and completion.

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement and expansion directions).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 1519 課コード 0603 会計種別 公営企業会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 基本事業 公共下水道の整備... ②部課名 建設部・下水道課...
(2) 目的: 衛生的で快適な生活環境を確保するため...
(3) 事業内容: 我孫子市下水道総合地震対策計画に基づき...
(4) 達成目標(期待する成果): 下水道総合地震対策計画に基づき事業を進める...
(7) 事業実施上の課題と対応: マンホール浮上防止工事は、地下埋設物の占有位置を十分調査し...

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境に配慮して事業を進めているか?
(5) (1) 目標設定は適切か?
(6) (2) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1689	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業	公共下水道の整備		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課		
		個別事業	湖北駅北口西側地区の整備								
	③事業主体	●市 ○その他 ( )									
	⑤事業期間	平成29年度 ~ 令和6年度				⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.35人		
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	177,500千円		当該(開始)年度	(当初)	12,145千円 (うち人件費 3,045千円)		(変更後)		
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201		重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		
	⑨事業目的	湖北駅北口西側地区の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。									
(3) 事業内容	内容	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。 衛生的で快適な生活環境を確保するために、湖北駅北口西側地区の下水道整備を行う。									
	当該年度執行計画	・4月交付申請 ・下水道管布設工事(補助事業)：5月契約(工期：6月～12月) ・下水道管布設工事(起債事業)：5月契約(工期：6月～12月) ・舗装復旧工事(補助事業)：7月契約(工期：8月～10月) ・舗装復旧工事(起債事業)：7月契約(工期：8月～10月)									
(4) 達成目標(期待する成果)	当該年度	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	m	
	令和3年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		単位	m	
	令和4年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		単位	m	
	令和5年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		単位	m	
(7) 事業実施上の課題と対応	当該地区は、狭隘道路であるため、適正な迂回路を計画して第三者の安全な交通を確保する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度			令和3年度			令和4年度	
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		*	舗装復旧工事(起債事業)	5,300	*	下水道管布設工事(補助事業)	6,800		*	舗装復旧工事(補助事業)	1,980
		*	附帯工事(起債事業)	2,000	*	下水道管布設工事(起債事業)	1,300		*	舗装復旧工事(起債事業)	380
		*	附帯工事(起債事業)	1,000	*	附帯工事(起債事業)	1,000		*	下水道管布設工事(補助事業)	27,000
予算(決算)額	合計		7,300	合計			9,100	合計			34,300
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	50%	3,400	補助率	50%	14,490	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	95%	6,935	充当率	45%	5,245	充当率	45%	17,620	
	一般財源			0			0			0	
その他の財源	■特会 ■受益 □基金 □その他		365	■特会 ■受益 □基金 □その他		455	■特会 ■受益 □基金 □その他		2,190		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.3		0.35			0.35		0.35		
	正職員人件費	2,640		3,045			3,045		3,045		
	嘱託職員報酬額	0		0			0		0		
	臨時職員賃金額	0		0			0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	9,940		12,145			37,345		51,185			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	99.4千円/%		102.92千円/m								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	当該地区は、駅近にも関わらず下水道が未整備で早急に整備が必要であり、地元住民からの下水道整備の要望も強い地区である。				<input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> 事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				<input type="checkbox"/> 民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	<input type="checkbox"/> 自治体である市が推進すべきである(理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 参加・協働の程度・内容 <input type="checkbox"/> 当初期待した以上 <input type="checkbox"/> 当初期待したとおり <input type="checkbox"/> 当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容 <input type="checkbox"/> 事業計画時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 事業実施時に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 管理・運営に市民の参画あり <input type="checkbox"/> 市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> 市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <その他の内容>				工夫の具体的な内容 実施した具体的な内容 環境への配慮 <input type="checkbox"/> 想定どおり <input type="checkbox"/> 想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	配慮の視点 <input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input checked="" type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容>				取組む内容 リサイクル材(再生材)の活用				○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック			達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>			○要 ○不要
	0	118	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である			実績値(f)(m)	達成率(%) (f/b)×100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策			実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託			実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100			
事業費削減率(%)		<削減の内容>			<超過理由等>					
△22.18										
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法			達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	0.97	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費			実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100		
m		10万円								

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	1883	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 健全な経営体制の確立 個別事業 流域下水道維持管理負担金の調整協議	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	3人 (換算人数)			0.15人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 772,200千円	当該(開始)年度	(当初)	771,305千円 (うち人件費 1,305千円)					
	⑧施策の位置づけ	施策コード 62202	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	
(2) 目的	施策目的・展開方向	下水道事業の健全経営を確保するため、未接続世帯への働きかけにより水酸化率を高めるとともに、下水道使用料や受益者負担金の未納者への督促を強化し、増収に努めます。また、地方公営企業法の適用に取り組みます。		事業目的	我孫子市内で公共下水道に接続している家庭、事業所などから排出される汚水を処理するため、負担する負担金について、金額を確定させる。					
(3) 事業内容	内容	我孫子市内で公共下水道に接続している家庭、事業所などから排出される汚水を処理するために、負担する負担金について、千葉県と調整協議する。		当該年度執行計画	令和2年 6月 手賀沼流域下水道維持管理負担金納入 (第1回) 令和2年 9月 手賀沼流域下水道維持管理負担金納入 (第2回) 令和2年 12月 手賀沼流域下水道維持管理負担金納入 (第3回) 令和3年 3月 手賀沼流域下水道維持管理負担金納入 (第4回) 千葉県の公営企業会計化により、令和2年度以降、維持管理負担金の納入回数が年4回となる。					
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該年度	流域下水道維持管理負担金を適正に負担する。			直接	千葉県との維持管理負担金についての協議回数		回	0	1	
令和3年度	流域下水道維持管理負担金を適正に負担する。			直接	千葉県との維持管理負担金についての協議回数		回		1	
令和4年度	流域下水道維持管理負担金を適正に負担する。			直接	千葉県との維持管理負担金についての協議回数		回		1	
(7) 事業実施上の課題と対応	流域下水道維持管理負担金を適正に負担するため、流域下水道維持管理負担金の単価改定などについて、手賀沼流域下水道事業の流域7市と千葉県とよく協議を行う。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	平成31年度		令和2年度			令和3年度		令和4年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		流域下水道維持管理負担金 (通常分) (放射能対策費分を含む)	700,000		流域下水道維持管理負担金 (通常分) (放射能対策費分を含む)	770,000		流域下水道維持管理負担金 (通常分) (放射能対策費分を含む)	770,000	
	予算(決算)額	合計	700,000	合計	770,000	合計	770,000	合計	770,000	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		0		0		0		0	
	その他の財源	■特会 □受益 □基金 □その他	700,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	770,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	770,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	770,000	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.25		0.15		0.15		0.15	
	正職員人件費		2,200		1,305		1,305		1,305	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		702,200		771,305		771,305		771,305	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			702,200千円/回		771,305千円/回					

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	・手賀沼の水質保全を図ることを目的に、県が管理主体 (下水道法第25条の2) となって実施する公共用水域の水質保全対策事業である。 ・流域団体が手賀沼流域下水道維持管理費の一部を負担 (下水道法第31条の2) し、手賀沼流域下水道事業の運用を図るものである。 ・下水道の適正な維持管理により、生活排水の汚水が終末処理場で適切に処理されるため、河川等公共用水域の水質汚濁防止等自然環境の観点からも必要である。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである (理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 事業の性質上、市民参加や市民との協働には適さない。				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容>				手賀沼流域下水道事業の維持管理を行う。  環境への配慮 ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (回)	目標値 (b) (回)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	1	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (回)	達成率 (%) (b/f × 100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	削減の内容		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	771,305	△69,105	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0		単位	費用単位	実績値 (h)	対目標値 (%) (e/h) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		回	10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費					

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				



事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2049), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project overview table including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Detailed evaluation table with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

3. 事後評価 - Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2061), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for progress status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2062), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2166	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	個別事業 布佐駅東側地区の整備	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 ■布佐 □全市						
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和3年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.25人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	34,400千円		当該(開始)年度	(当初)	18,575千円 (うち人件費 2,175千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	五か年整備計画
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改良に取り組みます。			事業目的	布佐駅東側地区の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。					
(3) 事業内容	内容	衛生的で快適な生活環境を確保するために、布佐駅東側地区の下水道整備を行う。			当該年度執行計画	・4月交付申請 ・下水道管布設工事(補助事業)：5月契約(工期：6月~11月) ・下水道管布設工事(起債事業)：5月契約(工期：6月~11月) ・舗装復旧工事(補助事業)：7月契約(工期：8月~11月) ・舗装復旧工事(起債事業)：7月契約(工期：8月~11月)					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				当該年度	公共下水道管渠布設延長	単位	m	想定値	161	
	当該年度	公共下水道管渠布設工事を実施する。			指標種類	直接	指標		実績値	0	
	令和3年度	舗装復旧工事を実施する。			直接	舗装復旧工事の進捗率	%		(5) 現況値	100	
	令和4年度				-				(6) 目標値	0	
(7) 事業実施上の課題と対応	当該地区は、ガス、水道等の地下埋設物が集中しているため、占用位置を十分調査し、安全に工事を実施する。				代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		* 下水道管布設工事(補助事業)		1,200	* 舗装復旧工事(補助事業)		1,600		* 舗装復旧工事(補助事業)		320
		* 下水道管布設工事(起債事業)		5,200	* 舗装復旧工事(起債事業)		1,500		* 舗装復旧工事(起債事業)		2,900
		* 附帯工事(起債事業)		2,000	* 下水道管布設工事(補助事業)		1,200		* 附帯工事(舗装)(単独事業)		500
	予算(決算)額	合計	8,400	合計	16,400	合計	3,720	合計	0		
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	600	補助率	50%	1,400	補助率	50%	160	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	45%	7,380	充当率	45%	13,670	充当率	45%	2,899	
	一般財源			0			0			0	
	その他の財源	■特会 ■受益 □基金 □その他		420	■特会 ■受益 □基金 ■その他		1,330	■特会 ■受益 □基金 ■その他		661	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.25			0.25				0.3	
	正職員人件費		2,200		2,175		2,610			0	
	嘱託職員報酬額		0		0		0			0	
	臨時職員賃金額		0		0		0			0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		10,600		18,575		6,330			0	
	(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		132.5千円/m		115.37千円/m						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	当該地区は、公共下水道が未整備であり、県道千葉電ヶ崎線の建設に伴い分断されている。地元からの要望が強く、早期に整備を行う必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		○要 ○不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他 <その他の内容>		リサイクル材(再生材)の活用				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(m)	目標値(b)(m)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	0	161	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(m)	(f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実績値(g)(千円)	対事業費(%)	○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	0.87	m	費用単位	10万円	実績値(h)	対目標値(%)	(h/e)×100		○要 ○不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2170), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2171	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	個別事業 高野山地区の整備	④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input checked="" type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成29年度 ~ 令和11年度		⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.05人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	230,500千円		当該(開始)年度	(当初)	435千円 (うち人件費 435千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無                     部門別計画への位置づけ (計画名) 五か年整備計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	高野山地区の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。				
(3) 事業内容	内容	衛生的で快適な生活環境を確保するために、高野山地区の下水道整備を行う。			当該年度執行計画	関係機関との調整協議、現地調査				
		当該年度活動結果指標	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率			単位	%	想定値	100	
(4) 達成目標 (期待する成果)	達成目標 (期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	関係機関との調整協議、現地調査を実施する。				直接	関係機関との調整協議、現地調査の進捗率		%	0	100
令和3年度	調査・修正設計業務委託を実施する。				直接	調査・修正設計業務委託の進捗率		%		100
令和4年度	整備計画に基づき、下水道の整備を実施する。				直接	公共下水道管渠布設延長		m		374
(7) 事業実施上の課題と対応	国道356号に占用するため、道路管理者と協議・調整を図る。				代替案検討	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		
		内容	金額(千円)	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		関係機関との調整協議、現地調査	0	* 関係機関との調整協議、現地調査	0		* 調査・修正設計	3,000	* 下水道管布設工事 (補助事業)	20,640
									* 下水道管布設工事 (起債事業)	6,960
									* 附帯工事 (起債事業)	3,000
予算(決算)額		合計	0	合計	0	合計	3,000	合計	30,600	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	50%	10,320
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	0
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	45%	18,750
	一般財源		0		0		0		0	0
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	0	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	3,000	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input checked="" type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他	1,530	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.05		0.05		0.05		0.05		
	正職員人件費	440		435		435		435		
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0		
	臨時職員賃金額	0		0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		440		435		435		3,435	31,035	
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		4.4千円/%		4.35千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	当該地区は、都市基盤整備を進めている地区であり、下水道整備を進めていく必要がある。また、地元住民からの下水道整備の要望も強い地区である。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> ②自治体である市が推進すべきである (理由) <input type="checkbox"/> 市が主導で進めることにより実効性が得られる <input type="checkbox"/> 市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される <input type="checkbox"/> 市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容			
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他 <その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>			
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮			
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他 <その他の内容> 該当なし						<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>			
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>				
	0	100	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%)	達成率 (%) (f/b × 100)				
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費 (c) (千円)	事業費削減額 (d) (千円)	<input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 <input type="checkbox"/> ④民間委託		実績値 (g) (千円)	対事業費 (%) (g/c) × 100				
	事業費削減率 (%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>			
	22.99	単位	費用単位	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値 (h)	対目標値 (%) (h/e) × 100				

3. 事後評価									
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善策及び展開方向
----	--------	-----------

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2172), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, goals, and implementation schedule.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2179	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 下水道施設の整備と維持管理	個別事業 下水道ストックマネジメント事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和4年度		⑥担当職員数	7人 (換算人数)		0.75人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	3,520千円		当該(開始)年度	(当初)	53,525千円 (うち人件費 6,525千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)	五か年整備計画		
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。			事業目的	公共下水道施設のすべてを対象とし、将来にわたって適切に維持管理、改築、修繕を行っていくためストックマネジメント計画を策定し実施することを目的とする。							
(3) 事業内容	内容	ストックマネジメントに基づく予防保全型の施設管理を実現するため、明確かつ具体的な施設管理の目標を設定し、リスク検討に基づく点検・調査計画及び修繕・改築計画を策定する。 また、これらの計画を実施し、評価、見直しを行うとともに施設情報を蓄積し、ストックマネジメントの精度向上を図る。 具体的には、①導入準備、②施設情報の収集・整理、③施設管理の目標設定、④リスクの検討、⑤点検・調査計画の策定及び実行、⑥修繕・改築計画の策定及び実行、⑦評価の見直しという工程となる。 なお、汚水事業（下水道課）、雨水事業（治水課）を同時に行う。			当該年度執行計画	ストックマネジメント点検・調査業務委託；4月交付申請、5月契約 ・委託期間：6月～12月 ・業務内容：点検・調査の実施、点検・調査情報の蓄積							
		当該年度活動結果指標	ストックマネジメント点検・調査業務委託の進捗率	単位	%	想定値	100	実績値					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	ストックマネジメント点検・調査業務委託を実施する。			直接	ストックマネジメント点検・調査業務委託の進捗率		%	0	100				
令和3年度	ストックマネジメント修繕・改築計画策定業務委託を行う。			直接	ストックマネジメント修繕・改築計画策定業務委託の進捗率		%		100				
令和4年度	ストックマネジメント修繕・改築実施設計業務委託を実施する。			直接	ストックマネジメント修繕・改築実施設計業務委託の進捗率		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応	公共施設の長寿命化については、市全体の施設の修繕・改築計画と整合を図る必要があるため、資産経営課及び下水道課、治水課で調整を図っていく必要がある。			代替案検討	●有 ○無								
(8) 施行事項	実施内容費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		*	ストックマネジメント計画策定業務委託(汚水分) (補助事業)	16,000	*	ストックマネジメント計画に基づく点検・調査業務委託(汚水分) (補助事業)	47,000	*	ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕計画策定業務委託(汚水) (補助事業)	25,564	*	ストックマネジメント計画に基づく改築・修繕実施設計業務委託(汚水) (補助事業)	17,200
		予算(決算)額	合計	16,000	合計	47,000	合計	25,564	合計	17,200			
		補助率	50%	8,000	補助率	50%	23,500	補助率	50%	12,782	補助率	50%	8,600
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	50%	8,000	補助率	50%	23,500	補助率	50%	12,782	補助率	50%	8,600
県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	
起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	50%	8,600	
一般財源		0		0		0		0			0		
その他の財源	■特会 □受益 □基金 ■その他	8,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	23,500	■特会 □受益 □基金 ■その他	12,782	■特会 □受益 □基金 ■その他	0					
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.65		0.75		0.65		0.65					
正職員人件費	5,720		6,525		5,655		5,655						
嘱託職員報酬額	0		0		0		0						
臨時職員賃金額	0		0		0		0						
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	21,720		53,525		31,219		22,855						
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	217.2千円/%		535.25千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価			事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
	本市の下水道建設は、昭和42年度から始まり、平成10年代までの間に集中的に整備され、今後急速に老朽化することが見込まれる。その一方で自治体の財政状況は逼迫化していることから、維持管理から改築更新までのライフサイクルコストの低減化や予防保全型施設管理の導入により、戦略的な維持管理・改築更新を行い、下水道サービスの持続性を図るため。			○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他			□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ○不要	
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他								
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容			実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし							○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点			実施した具体的な内容				環境への配慮	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし							○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		○①目標値達成 ○②目標値未達成		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 □②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
△146.43									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		
	0.19	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
		%		10万円					

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	評価コメント	改善案及び展開方向
----	--------	-----------



事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2182	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
		個別事業 久寺家汚水中継ポンプ場の圧送管閉塞事業									
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input checked="" type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input type="checkbox"/> 全市						
	⑤事業期間	平成31年度 ~ 令和4年度			⑥担当職員数	1人 (換算人数) 0.05人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	32,600千円		当該(開始)年度	(当初)	435千円 (うち人件費 435千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
(2) 目的	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無			
	⑨事業目的	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。久寺家汚水中継ポンプ場に接続する圧送管を閉塞し、道路陥没等の事故防止に努めます。									
(3) 事業内容	内容	占用者協議の実施									
	当該年度執行計画	圧送管閉塞事業 (協議・設計・閉塞) の進捗率									
(4) 達成目標 (期待する成果)	当該年度	達成目標 (期待する成果)		指標種類	指標		単位	%	想定値	10	
	令和3年度	占用者協議を実施する。		直接	圧送管閉塞事業 (協議・設計・閉塞) の進捗率		%		実績値	0	
	令和4年度	圧送管閉塞実施設計業務委託を実施する。		直接	圧送管閉塞事業 (協議・設計・閉塞) の進捗率		%		(5) 現況値	50	
	令和4年度	圧送管閉塞工事を実施する。		直接	圧送管閉塞事業 (協議・設計・閉塞) の進捗率		%		(6) 目標値	100	
	(7) 事業実施上の課題と対応	圧送管を閉塞し、安全な道路交通を確保する必要がある。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容費用										
	平成31年度		令和2年度				令和3年度		令和4年度		
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		現地調査	0	*	占用者協議	0			*	圧送管閉塞実施設計	2,000
										圧送管閉塞工事	39,600
予算(決算)額		合計		合計		合計		合計		39,600	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	0	
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	0	
	一般財源		0		0		0		0	0	
	その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	2,000	<input checked="" type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	39,600		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.15		0.05		0.15		0.15			
	正職員人件費	1,320		435		1,305		1,305			
	嘱託職員報酬額	0		0		0		0			
	臨時職員賃金額	0		0		0		0			
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,320		435		3,305		40,905			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	13.2千円/%		43.5千円/%								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性)	久寺家汚水中継ポンプ場は、平成25年度に公共下水道を流域下水道へ切替えたことから、ポンプ運転を停止している。当該ポンプ場に接続する圧送管が道路に埋設されており、道路陥没等の危険を伴うことから閉塞のための調査・設計を早期に行う必要がある。				<input type="checkbox"/> ①事前確認での想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性)	<input checked="" type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		<input type="checkbox"/> ①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input type="checkbox"/> ②市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> ④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> ⑤サービス水準が確保された <input type="checkbox"/> ⑥サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> ⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①事業計画時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ②事業実施時に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ③管理・運営に市民の参画有り <input type="checkbox"/> ④市民の自主的な活動と連携している <input type="checkbox"/> ⑤市民と共同で事業を実施 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①当初期待した以上 <input type="checkbox"/> ②当初期待したとおり <input type="checkbox"/> ③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	<input type="checkbox"/> ①自然環境を生かしている <input type="checkbox"/> ②生き物と共存している <input type="checkbox"/> ③手賀沼を意識している <input type="checkbox"/> ④環境負荷低減に貢献している <input checked="" type="checkbox"/> ⑤その他		<その他の内容> 該当なし				<input type="checkbox"/> ①想定どおり <input type="checkbox"/> ②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値 (a) (%)	目標値 (b) (%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値達成 <input type="checkbox"/> ②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	0	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①客観的なデータ・事実に基づき設定している <input type="checkbox"/> ②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない <input type="checkbox"/> ③現況値との差が小さい値ではない <input type="checkbox"/> ④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値 (と現況値の差) と同等の水準である		実績値 (f) (%) 達成率 (%) (f/b × 100)				○要 ○不要
	対策実施による事業費削減 事業費 (c) (千円) 435 事業費削減額 (d) (千円) 885 事業費削減率 (%) 67.05		実施予定の対策 <input type="checkbox"/> ①国・県助成制度活用 <input checked="" type="checkbox"/> ②現行体制での対応 <input type="checkbox"/> ③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ④民間委託 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 <input type="checkbox"/> ⑦その他		実績値 (g) (千円) 対事業費 (%) (g/c) × 100		<input type="checkbox"/> ①想定事業費未済 <input type="checkbox"/> ②概ね想定事業費以内 <input type="checkbox"/> ③想定事業費超過 事業費の削減対策について <input type="checkbox"/> ①事前の想定どおり <input type="checkbox"/> ②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	目標値対事業費 (e)		計算方法		達成状況		<input type="checkbox"/> ①目標値以上 <input type="checkbox"/> ②目標値と同程度 <input type="checkbox"/> ③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要
	2.3	単位 費用単位 %	<input checked="" type="checkbox"/> ①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 <input type="checkbox"/> ②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値 (h) 対目標値 (%) (h/e) × 100				○要 ○不要

3. 事後評価										
<input type="checkbox"/> 現状どおり推進 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 結合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業手法見直し <input type="checkbox"/> その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2203), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 縮小, etc.)

Final evaluation table with columns for 評価 (Evaluation) and 改善策及び展開方向 (Improvement measures and future directions).

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 2208 課コード 0603 会計種別 公営企業会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 維持管理の充実, ②事業種別 久寺家1・2丁目地区不明水対策事業 (N○5流域), ③事業主体 市, ④対象地区 我孫子, ⑤事業期間 平成31年度～令和5年度, ⑥担当職員数 4人, ⑦事業費 0千円, ⑧施策の位置づけ 62201, 重点プロジェクトへの位置づけ 重点なし.
(2) 目的: 衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。
(3) 事業内容: 当該地区は、平成29年度から現況を的確に把握するための不明水実態調査解析を行っている。この結果を踏まえ、平成30年度に流末エリアでTVカメラを使用した詳細調査・解析（本管、人孔）、令和元年度にも同様の調査・解析（取付管）を行い、令和2年度以降、実施設計、補修工事を行う。
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果)
(5) 事業実施上の課題と対応: 調査・補修工事は、住民への説明を十分に行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は？ (事業の必要性), (2) 市が実施する必要性はあるか？ (市実施の必要性), (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか？ (体制づくり), (4) 環境に配慮して事業を進めているか？, (5) 目標設定は適切か？, (6) 事業費削減の工夫をしているか？, (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？ (目標対費用)
事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む))
改善検討: ○要 ○不要

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他 (事業完了など)
評価コメント: 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード 2209 課コード 0603 会計種別 公共下水道事業特別会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名 維持管理の充実 個別事業 新木野4丁目地区不明水対策事業
(2) 目的: 衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。
(3) 事業内容: 内容 当該地区は、雨天時不明水の流入が維持管理上の問題となっている。
(4) 達成目標(期待する成果): 達成目標(期待する成果) 指標種類 指標 単位 (5) 現況値 (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目 事前評価 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)) 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
(3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
(4) 環境への配慮
(5) 目標設定は適切か?
(6) 事業費削減の工夫をしているか?
(7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

評価 コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

Header table with columns: 事業コード (2225), 課コード (0603), 会計種別 (公営企業会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for Section 1: 事業の概要 (PLAN). Includes sub-sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed financial data for fiscal years 2019, 2020, 2021, and 2022.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table for Section 2. Columns include: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Rows cover: (1) 事業が今必要である理由・背景は?, (2) 市が実施する必要性はあるか?, 参加・協働の工夫, 環境への配慮, (1) 目標設定は適切か?, (2) 事業費削減の工夫をしていないか?, (3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)

Summary table for Section 3 with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2258	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	■政策 □経常 □なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 維持管理の充実	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区		□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	令和2年度～令和6年度		⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.45人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	7,915千円 (うち人件費 3,915千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不排水によるマンホールからの汚水の噴出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改築に取り組みます。				事業目的	千葉県流域関連公共下水道の不排水対策について、3流域共通の「流域関連公共下水道における不排水対策マニュアル」を作成し、各流域で不排水対策5ヵ年計画を策定し、流域市町全体で不排水対策を実施し、雨水浸入の原因を排除する。						
(3) 事業内容	内容	手賀沼流域関連公共下水道の不排水対策5ヵ年計画（令和2年度～令和6年度）に基づき、大雨時の汚水溢水等に対し、適正な対策を行い、管路、マンホール、宅内設備等の下水道施設の機能を保持できるよう努める。令和2年度から、誤接続を確認するための送煙調査や雨水の浸入を防ぐためのマンホール蓋穴閉塞等を行う。				当該年度執行計画	・不排水対策送煙調査業務委託（新木野地区）；5月契約（6月～10月） ・マンホール蓋穴閉塞						
		当該年度活動結果指標	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率	単位	%	想定値	20						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。				直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%	0	20			
令和3年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。				直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%		40			
令和4年度	不排水対策5ヵ年計画に基づき、不排水対策送煙調査業務委託を実施する。				直接	不排水対策送煙調査業務委託の進捗率		%		60			
(7) 事業実施上の課題と対応	不排水対策調査等については、住民への説明を十分行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
					*	不排水対策送煙調査業務委託 マンホール蓋穴閉塞	4,000 0	*	不排水対策送煙調査業務委託 マンホール蓋穴閉塞	4,000 0	*	不排水対策送煙調査業務委託 マンホール蓋穴閉塞	4,000 0
		予算(決算)額	合計	0	合計	4,000	合計	4,000	合計	4,000			
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0			
県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
一般財源		0		0		0		0					
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,000	■特会 □受益 □基金 ■その他	4,000					
換算人数(人)		0		0.45		0.45		0.45					
正職員人件費		0		3,915		3,915		3,915					
嘱託職員報酬額		0		0		0		0					
臨時職員賃金額		0		0		0		0					
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		0		7,915		7,915		7,915					
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/**		395.75千円/%										

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	千葉県流域関連市町で公共下水道の不排水対策に取り組むものである。大雨時に下水道マンホールから汚水が溢れ、維持管理上の問題となっており、地元住民から調査、対策の要望もあるため、早期の対応を要する。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他  <その他の内容> 該当なし						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	0	20	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	0.25	単位 費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（令和2年度）

事業コード	2259	課コード	0603	会計種別	公営企業会計	予算の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	--------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 公共下水道の整備	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	建設部・下水道課			
	③事業主体	個別事業 柏市共用管の建設事業	④対象地区		■我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市						
	⑤事業期間	令和2年度～令和2年度		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.15人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	15,263千円		当該(開始)年度	(当初)	14,828千円 (うち人件費 1,305千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)	
	⑧施策の位置づけ	施策コード	62201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	衛生的で快適な生活環境を確保するため、市街化区域内の下水道整備を計画的に進めるとともに、既存施設の耐震化やマンホールトイレの整備を行います。また、老朽化に伴う改修や不明水によるマンホールからの汚水の湧出防止など、適切な維持管理を進めるとともに、計画的な改良に取り組みます。				事業目的	根戸地区の下水道整備を行い、良好な生活環境の形成を図る。				
(3) 事業内容	内容	根戸地区の下水道整備を行い、衛生的で快適な生活環境を確保する。当事業は、我孫子市と柏市の共用管であり、公共下水道事業に関する基本協定書に基づき、柏市が管渠等の工事をを行い、工事に要する費用を案分して負担する。				当該年度執行計画	・柏市が施工する共用管工事費用の負担				
		当該年度活動結果指標	共用管工事の進捗率	単位	%	想定値	100		実績値		
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)					指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該年度	柏市が公共下水道事業に関する基本協定書に基づき、共用管工事を実施する。我孫子市はその費用を負担する。					直接	共用管工事の進捗率		%	0	100
令和3年度						-					0
令和4年度						-					0
(7) 事業実施上の課題と対応	共用管工事は、住民への説明を十分行い、事業への理解を得ながら進めていく必要がある。					代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		予算(決算)額	合計	0	合計	13,523	合計	0	合計	0	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%		
	起債	充当率	0%	充当率	95%	充当率	0%	充当率	0%		
	一般財源		0		0		0		0		
(10) 人件費等	換算人数(人)		0		0.15		0		0		
	正職員人件費		0		1,305		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			0		14,828		0		0		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			0千円/**		148.28千円/%						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)										
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討	
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	当該地区は、我孫子市と柏市の市境に位置し、両市が行う手賀沼流域関連公共下水道事業である。地元住民からの要望が強く、早期に整備を行う必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要	
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要	
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要	
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要	
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし				○①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要		
	0	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b)×100	<目標を達成した理由/未達成となった原因>		○要 ○不要	
	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ○不要	
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>					
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>	
	0.67	単位 費用単位 %	費用単位 10万円	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント					改善策及び展開方向				